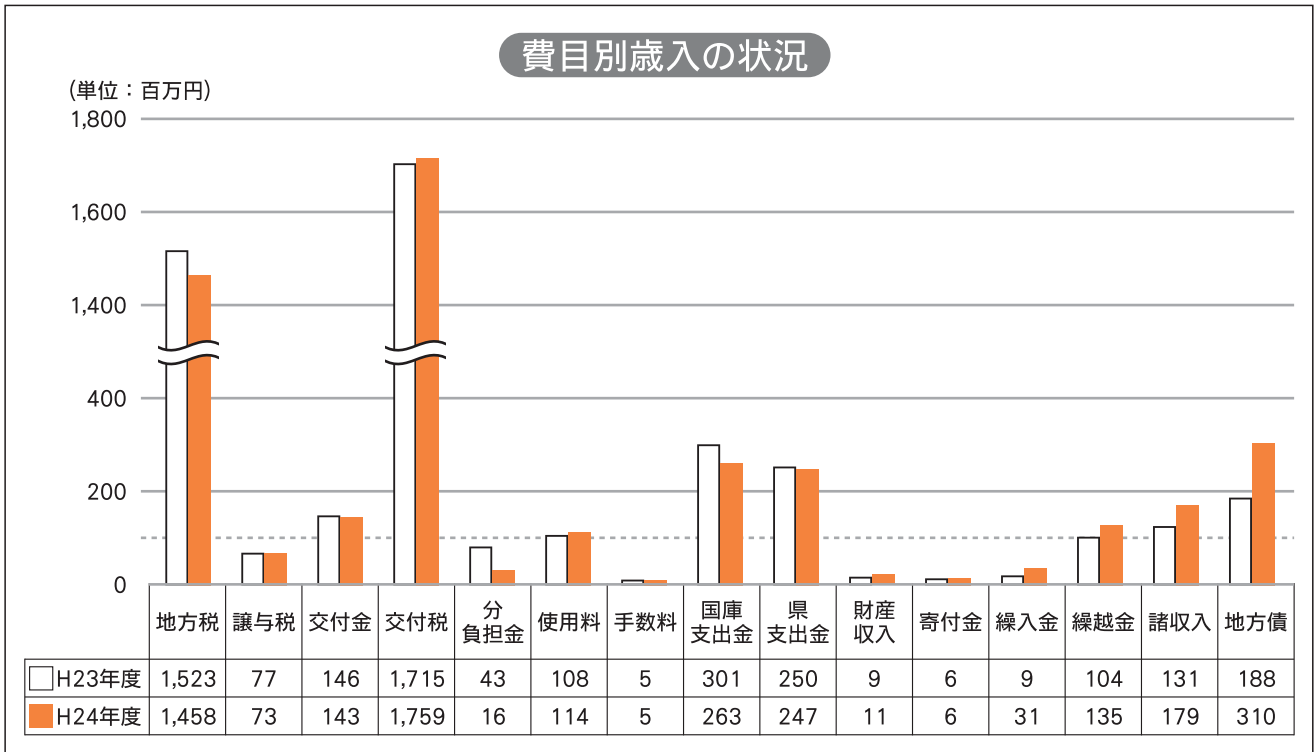


平成24年度 決算認定

実質収支 1億1947万円



- 問** 臨時財政対策債の今後の借入方針は。
- 答** 健全財政をより強固なものとするため、極力借り入れしない状況にしていきたいです。
- 問** 電算委託料の総額は。
- 答** 全体で約3800万円です。
- 問** 乗り合いタクシー運行事業の利便性の向上は要望を把握してから検討していきたいです。
- 答** がん検診推進事業は、無料クーポン券の受診率が低いので対象者を拡大しては。
- 問** 国庫補助では対象者が決まっています。しかし受診率は低いので、今後検討が必要だと思います。
- 答** 家庭用生ごみ処理機による処理量が増えているが、統計の方法は。
- 問** 購入者から年度末に実績数字を出していただいています。
- 答** 猟友会への有害鳥獣駆除報酬単価が低いのは。
- 問** 近隣町村との均衡も考慮し、捕獲実績による支払いもされているので一概に低いとは言えません。
- 答** 国土調査事業をよりス皮ード感をもって進められないか。
- 問** 予算的な問題だけでなく、現状と公図があわないなどの重大な問題が起って難しいです。
- 答** 事業実施2年目の白馬産そばを主とした特産品の販売促進・PR事業の効果は。
- 問** 効果が上がったとは言いがたい部分はあるが、参加事業者が増加したことに意義があり、そばガレットのクレーピエは再認定制度を取り入れ資質の向上に努めています。
- 答** 八方駐車場管理組合に対する50万円の支出内容は。
- 問** 一般登山者用の駐車場の借上料で、平成24年度よりは観光局が支出していただきました。